

Voice

伊藤病院だより
WINTER

2024年12月1日発行 第88号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



表参道ヒルズのクリスマスツリー

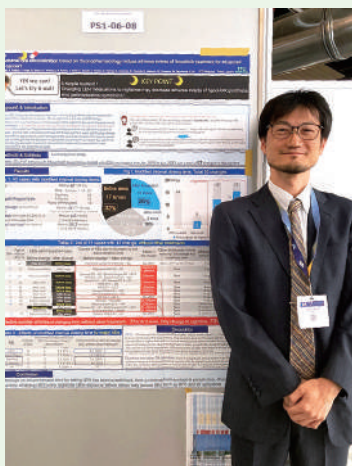
医療の国際化に向けて

◆第46回欧州甲状腺学会年次学術集会に参加してきました

伊藤病院 外科医長 鈴木章史

9月7日から10日まで、ギリシャの首都アテネで開催された第46回欧州甲状腺学会に参加してきました。会場はアクロポリス近くの「アテネ音楽院」で、1871年に設立されたギリシャ最古の舞台芸術学校です。前日に会場を下見した際、準備がほとんど進んでおらず不安になりましたが、ポスター展示会場に一人でいた笑顔のおじさんが学会長で、「今夜、すべて準備するから大丈夫！」と言ってくれました。これがいわゆる「ギリシャタイム」かなと思いながらも、翌日にはすっかり準備が整い、無事にポスター発表を行うことができました。

私の発表内容は、甲状腺がんの治療薬であるレンバチニブの夜間内服が副作用の軽減に役立つかどうかというもので、発表後に何件か問い合わせがきており、アテネまで行って良かったと感じています。学会ではさまざまな興味深いトピックが発表されました。例えば、デンマークからは甲状腺機能や自己抗体が妊娠に与える影響について、韓国からは抗甲状腺薬の副作用（無顆粒球症や肝障害）について、イタリアからはBRAF変異を持つ未分化がんに対する治療の報告がありました。特に、甲状腺がんのセッションでは、遺伝的要因や放射線治療の効果、再分化治療に関する知見を得ることができ、刺激的でした。今回の学会での経験が、今後の診療に少しでも役立てることができればと思います。



◆欧州臨床腫瘍学会(ESMO Congress) 2024に参加しました

伊藤病院 外科 赤石純子

9月13日～17日にスペイン・バルセロナにて欧州臨床腫瘍学会が開催されました。世界149ヶ国から34,000名の研究者が集う賑やかな学会となりました。当院からは赤石が「Clinical Characteristics and Prognosis of Pediatric Patients with Papillary Thyroid Carcinoma」(小児甲状腺乳頭癌の臨床的特徴と予後)について発表しました。甲状腺がんを含め、多臓器にわたる悪性腫瘍に対する新たな治療戦略や新規薬物療法の効果など最新のデータが発表され、活発な議論がなされていました。新しい情報を共有でき、大変有意義な学会となりました。甲状腺がんの領域においても、がんゲノム医療が発展し、治療の選択肢が増えてきています。学会を通じて得られた知見をもとに、これからも甲状腺診療に励んでいきたいと思っています。



◆万国外科学会ISWに参加してまいりました

伊藤病院 外科 正木千恵

このたびわたくしは、8月26日～29日にマレーシア・クアラルンプールにて万国外科学会により開催されたISW(International Surgical Week)2024という国際学会に参加してまいりました。

ISWは臓器分野別に細分化され、甲状腺外科はIAES(International Association of Endocrine Surgeons, 国際内分泌外科学会)に所属し、世界各国から内分泌外科医が集いました。4日間の会期を通し、ひと部屋で一日中講演やディスカッションが行われ、そのなかでわたくしはPoster Discussionにて発表させていただきました。それぞれの国の事情は異なりながらも甲状腺外科学の目指す方向性は同じであることを、改めて感じるこのできる貴重な経験でした。



医療の国際化に向けて

◆THANC Foundationのセミナーで講演しました

伊藤病院 内科 鈴木菜美

この度、THANC (Thyroid, Head and Neck Cancer) Foundationが企画するTIRO (Thyroid International Recommendations Online) × MDS (Multidisciplinary Seminars)において、オンラインで講演を行いました。

THANC Foundationは米国ニューヨークに拠点のある財団で、そのミッションは頭頸部・甲状腺のがんの早期発見と治療のための研究と教育をサポートすること、および新たな治療の開拓と治療にともなう苦痛や機能障害を軽減することに努めること、とされています。医師向けの専門的な情報発信のほか、患者向けの情報も発信されています。

特にTIROは甲状腺悪性腫瘍に関する情報発信活動をしており、2020年のCovid-19パンデミックで若手医師の学びの機会が減ってしまったことをきっかけに、オンラインでの情報発信のプラットフォームとして開設されました。そして、TIRO × MDSセミナーは、がんの研究機関であるメモリアル・スローン・ケタリングがんセンターの先生方が興味のある論文を選び、毎週金曜にジャーナルクラブを開催してその論文の解説とその領域のスペシャリストとのディスカッションなどを実施、配信しています。

今回は私が2022年に米国甲状腺学会誌『Thyroid』に報告しました、甲状腺リンパ腫に関する論文を取り上げていただき、それについてのオンラインプレゼンテーションを行いました。続いて、米国マウントサイナイ医科大学病院のTerry Davies先生とMark Urken先生とともにディスカッションし、比較的珍しい疾患である甲状腺リンパ腫についての意見交換を行いました。海外の甲状腺専門医と直接意見交換し交流できる貴重な経験となり、嬉しく思いました。



◆日仏医療マネジメント研究会を主催しました

8月31日～9月7日の日程で、日仏医療マネジメント研究会を主催しました。この会は、2008年に伊藤公一院長が立ち上げ、以来、国際医療福祉大学 高橋泰教授とともに、全国の医療機関管理者を招いて開催しております。例年は高齢化、少子化、医療費増大など日本と同じ課題を抱え、経済的にも日本と同規模のフランスの医療視察を行っておりますが、今回、オリンピック・パラリンピック終了直後で視察が難しかったため、デンマークとアラブ首長国連邦を視察しました。

デンマークは、所得税・消費税などが日本の数倍、一方で医療・介護、教育などはほぼ無料という高福祉・高負担国家です。人口は600万人弱と千葉県より少ないほどで、手厚い福祉を効率的に運営するために非常にデジタル化が進んでおり、医療面でも自治体や病院を結ぶ情報ネットワークが発達しています。今回、シェラン大学病院および南デンマーク大学ヘルス・イノベーション・センターにて、全自動搬送システムや医療機器の一括管理システム、AIの導入など、医療における先進的な取り組みを視察しました。

アラブ首長国連邦は、医療を経済成長の柱に位置付けて先進化をすすめており、世界でも有数のメディカルツーリズム受け入れ国です。今回はドバイに設けられた医療特区にあるアメリカンウェルネスセンターを視察しました。この施設はリハビリ、グループセラピーなど精神保健サービスを中心にしており、現地でコーディネーターも務めている日本人医師から、先進事例とドバイの医療状況について講演を伺いました。



学会活動

ピックアップ 第67回日本甲状腺学会学術集会が開催されました

伊藤病院 内科 鈴木菜美

10月3日～5日にパシフィコ横浜ノースにて、第67回日本甲状腺学会学術集会が開催されました。今回は国立成育医療研究センターの荒田尚子先生が会長を務められ、内科系、外科系ともに趣向を凝らしたテーマでプログラムが構成されておりました。特に会長の荒田先生は“妊娠と甲状腺”に関する分野の日本のリーダー的存在であり、その領域の最新情報を学ぶとともに、オランダ・エラスムス大学よりKorevaar先生をゲストスピーカーにお招きし、欧米での最新知見を交えて学ぶことができた、とても貴重な機会となりました。また甲状腺眼症に関しては、現在新たな治療薬開発や、本邦でも新規に承認を得た薬剤もあることから、治療の幅がさらに広がる可能性に期待が持てました。また外科領域においては、昨年改定された『甲状腺癌取り扱い規約』および、本年改定された『甲状腺腫瘍診療ガイドライン』それぞれの改定点が取り上げられていました。分子標的治療薬が導入されてから10年経過しましたが、これからの甲状腺がんのゲノム診療時代における治療戦略を学ぶよい機会となりました。当院からは内科より8題、外科より5題の発表を行い、また内科の8題のうち4題は高得点演題と高い評価をいただきました。各セッションで活発な討議が行われ、充実した学会となりました。



またこのほかに、吉原・福田内科医長および友田外科医長らがそれぞれシンポジウムにて講演、吉原内科医長は先述のKorevaar先生とのセッションでの講演、そして渡邊内科部長が教育講演を行い、専門病院の強みを発揮することができたと思います。今回学んだ多くの知識を、明日からの診療に反映していきたいと考えております。

受賞者より一言

第53回七條賞を受賞して

伊藤病院 内科 鈴木菜美

このたび、2024年度日本甲状腺学会において『七條賞』を受賞いたしました。七條賞は若手研究者の研究を奨励するため、1972年に七條小次郎先生によって創設された伝統のある賞で、日本甲状腺学会より贈られます。このような歴史のある賞を受賞できたことを大変光栄に思いますとともに、歴代受賞者の功績と並ぶことに恐縮しております。またこの賞は、2016年度に当院内科部長 渡邊奈津子医師、2020年度に内科医長 吉原愛医師が受賞しております。この度の受賞におきましては、ご指導いただきました先生方だけでなく伊藤病院すべてのスタッフの支えがなければ成しえなかったものと思っております。今後も日々の診療だけでなく、より良い医療を提供できるよう邁進してまいります。



日本甲状腺学会理事長 田上哲也先生と

学会活動

第67回 日本甲状腺学会学術集会

発表

鈴木章史	進行甲状腺癌に対するDabrafenib/Trametinib治療10例の検討
友田智哲	バセドウ病術後の甲状腺機能について
赤石純子	若年成人女性における甲状腺分化癌RAI治療後の妊娠についての検討
市川雅大	アミロイド甲状腺腫の1例
小澁正和	機械学習による橋本病の甲状腺機能と甲状腺自己抗体価の一般血液検査に対する影響
鈴木菜美	産後に診断される甲状腺眼症の頻度と甲状腺機能との関連
ヘイムス規予美	高異形度分化癌で不幸な転機をとった微小乳頭癌の一例
松井愛唯	甲状腺乳頭癌の原発腫瘍/転移リンパ節の内頸静脈浸潤でその予後に差があるか
松本雅子	甲状腺腫増大により甲状腺全摘術を施行したPendred症候群の臨床像
大江秀美	MMI15mg+KI50mg/日で治療開始したバセドウ病症例のMMI内服量変化と治療経過
岩久建志	亜急性甲状腺炎に対する副腎皮質ステロイドによる治療効果の検討

高得点演題

渡邊奈津子	新規TSH活性バイオアッセイを用いた甲状腺機能正常者のTSH活性基準範囲の検討
吉原 愛	中毒性多結節性甲状腺腫に対する ¹³¹ I内用療法単回投与後の長期臨床成績
福下美穂	転移性甲状腺腫瘍(Tumors metastatic to the thyroid : TMT) 34例の超音波検査所見を含めた臨床的特徴
飯田達也	リオチロン投与症例の臨床像

座長

吉原 愛	レジェンド妊娠セミナー
友田智哲	一般ポスター 腫瘍(薬物療法)
赤石純子	一般ポスター 手術
鈴木菜美	一般演題⑦亢進症[症例]
正木千恵	ポスター 甲状腺腫瘍3
松本雅子	一般演題⑬ 診断・治療[臨床研究]
大江秀美	ポスター 検査
岩久建志	ポスター 低下症

特別講演

渡邊奈津子	教育講演1「バセドウ病(GD)に対する無機ヨウ素治療～甲状腺とヨウ素の歴史的関係と共に～」
北川 亘	ハンズオンセミナー・インストラクター「甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門資格認定 ハンズオンセミナー」
吉原 愛	シンポジウム4 Post七條賞「七條賞受賞を経て」 海外招聘共催セミナー 妊娠と甲状腺ガイドライン「How should we integrate the upcoming guidelines into clinical practice in Japan? -Graves' Disease-」
福下美穂	シンポジウム3 甲状腺眼症の管理戦略「内科的管理」
友田智哲	シンポジウム2 甲状腺癌取り扱い規約と甲状腺腫瘍診療ガイドライン：改定のポイントと今後の課題「甲状腺癌取り扱い規約第9版＝臨床部分＝」
鈴木 菜美	第53回七條賞受賞講演「臨床から多くを学んで～臨床の疑問を臨床研究で解決したい～」
吉村 弘	専門医教育セミナー 1「抗甲状腺薬による血球障害」
大江秀美	臨床重要課題「若年者バセドウ病のMMI単独治療、MMI+KI併用治療の有効性と安全性に関する多施設共同観察研究(後ろ向きコホート研究)の現状報告」 シンポジウム1「小児甲状腺疾患のトピックス」 「若年発症バセドウ病に対するMMI+KI併用療法について」

ランチョンセミナー

伊藤公一	座長 ランチョンセミナー 1「甲状腺がん診療 これまでとこれから／BRAF遺伝子変異陽性甲状腺癌に対する新たな治療～エンコラフェニブ/ビメチニブ併用療法～」
渡邊奈津子	座長 ランチョンセミナー 4「月経閉経における女性の健康課題と対策－更年期障害と甲状腺疾患を中心に－」 ランチョンセミナー 6「潜在性甲状腺機能低下症－診断と治療のpitfall－」
吉村 弘	ランチョンセミナー 3「甲状腺研究の海外からの新しい波－少し先の未来を覗いてみましょう－」

学会活動

ピックアップ

伊藤院長・福下内科医長があすか甲状腺セミナーに参加しました

9月19日、関東地区の医療関係者を対象とした「あすか甲状腺セミナー」が、あすか製薬・キャノンメディカルシステムズの主催・協力にてWEB開催されました。

本講演会において、伊藤院長は座長を務め、講演1は福下美穂内科医長が「今すぐ役立つ 甲状腺疾患を診るポイント」をテーマに、甲状腺疾患全般における検査、診断の実際について講演しました。続く講演2では当院非常勤でもある國井葉医師が「甲状腺超音波検査を見るポイント」をテーマに、甲状腺腫瘍の有無などの確認に欠かすことのできない超音波検査について、講演されました。

当日の視聴者は600名を超え、盛況のうちに終了。多くの参加者から勉強になった、甲状腺疾患についての理解が深まったとの感想をいただきました。



年末年始の休診について

今年の年末年始は日曜日と重なるため、下記期間を休診とさせていただきます。

12月28日(土)午後～1月5日(日)

国際医療福祉大学からの実習生を受け入れました

国際医療福祉大学は全国に6つのキャンパスをもつ医療福祉の専門大学で、当院では毎年実習生として同学の学生を受け入れております。今年は、診療情報管理士などの医療専門職を養成する医療福祉マネジメント学科より、3年生の佐藤さんが2週間実習を行いました。ご挨拶をいただきましたので、ご紹介します。

佐藤日名大さん

貴院での2週間の実習では、多くの部署で実際の業務を体験し、病院運営の多角的な側面を学びました。初日は診療情報管理室でのシステム管理や紹介状に触れ、保険更新や患者登録の重要性を実感しました。翌日以降は、広報・総務、ISO事務局、放射線検査室など多様な部門を回り、それぞれの専門性と役割を理解しました。特にDPC(診断群分類)関連の業務やISO会議に参加することで、病院の経営管理や品質向上に向けた取り組みを学びました。秘書業務では、院内外のコミュニケーションの重要性も体験し、各部署の連携がスムーズな病院運営に不可欠であることを実感しました。

この実習を通じ、医療現場の裏側で働く多くのプロフェッショナルの努力が患者ケアの質を支えていることを強く感じました。この経験を今後に活かしていきたいと思います。貴重なお時間ありがとうございました。



伊藤病院 2025年の休診および学会日程のご案内

外来の臨時休診

11月27日(木)～28日(金)は、日本甲状腺学会学術集会のため、外来診療を休診とさせていただきます。

多くの医師の外来変更・休診があります。

下記期間中は、学会参加のため多くの医師の外来が変更となります。

5月22日(木)～24日(土) 日本内分泌外科学会総会

6月 5日(木)～ 7日(土) 日本内分泌学会学術総会

11月29日(土) 日本甲状腺学会学術集会

スペシャルオリンピックス日本・東京支援 チャリティ・ガラ・コンサートに協賛しました

スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちの自立や社会参加を目的として、障害のある人たちがさまざまなスポーツを通じてともに楽しみ成長すること、またその成果を発表する場として競技会の開催やコーチの育成などに取り組んでいる国際的なスポーツ組織で、ボランティアによって運営されています。

今回のコンサートは、東京でこの活動を担っているスペシャルオリンピックス日本・東京(SON・東京)の創立30周年を記念して10月に開催されました。コンサートを企画したSON・東京を支援する会もまたボランティアの方々が運営され、経費を除いた収益全額をSON・東京に寄付しています。当院もこの趣旨に賛同し、コンサートに協賛いたしました。



出演者と協力いただいたアスリートとの記念写真

原宿表参道元氣祭 スーパーよさこいのボランティアに参加しました

伊藤病院 看護部 岡田依里、有村由美子

8月24日～25日に開催された「原宿表参道元氣祭スーパーよさこい」の救護ボランティアに参加しました。私は初の参加で、真夏の暑さのなかでの活動は予想以上に大変でした。しかし、そのなかで感じたのは、実行委員の方々の並々ならぬ努力と献身です。祭りの成功のために、事前準備から当日の運営まで、細部にわたって計画され、演者・ボランティア・観客の安全を第一に考えた配慮が随所に見られました。私自身も救護ボランティアとして、熱中症の疑いがある方々の対応に追われましたが、その度に実行委員の方々がサポートしてくださり、無事に任務を遂行することができました。今回のボラン

プロスキーヤー 井山敬介選手を応援しています

伊藤病院は、パーソナルスポンサーとしてプロスキーヤーの井山敬介選手を応援しています。

井山選手は、北海道富良野市出身。小さいころから雪と親しみ、高校在学中にはナショナルチームに選ばれ、ワールドカップ出場も果たしました。

2000年からは、総合技術を競う全日本スキー技術選手権大会に活動の場を移し、2007年に初優勝。翌2008年も連覇し、その後も2014年の優勝を含め現在まで連続出場を果たしています。

また、選手活動に加え、子どもから大人まで楽しむことができるスノースポーツの魅力を伝えることにも尽力。テレビ・ラジオへの出演や講演会の開催、また各地の子どもたちに雪の魅力を伝える「雪育活動」に取り組んでいます。



ティア参加を通じて、祭りの裏側で働く多くの人々の努力と、彼らの熱意に触れることができ、大変貴重な体験となりました。また、演者のみなさまが炎天下のなか、汗だくになりながらも笑顔を保ち、力強い踊りを披露する姿は感動的でした。特に、子供たちや高齢者の演者が一生懸命に踊る姿には、観客としてもボランティアとしても大きな勇気をもらいました。



今日は保険証確認の日だったかな？

伊藤病院 医事室室長 佐々木太郎

受付票でお知らせしています

当院では、毎月1回（その月の初回来院時）の保険証確認をお願いしています。確認が必要な方は、右のようにお知らせを表記していますので、ご確認ください。表記されていない場合保険証の内容に変更がなければ確認は不要ですが、月の途中で保険資格に変更などがございましたら、窓口までお申し出ください。

<受付票>		2024-XX-XX
受付番号	000 番	
午前診察		
ID-No	XXXXXXX	
カナ	XXXXXX	
氏名	XXXXXX 様	
(前回来院日: ○年○月○日)		
(本日の予定)		
保険証確認があります 1階 保険証確認窓口にて 診察前までにお済ませください		
① 診察があります		
<携帯確認くんQRコード>		

保険証確認は診察前までにお済ませください

保険証確認は、受付後から診察前までの間にお願いします。検査や診察等の診療スケジュールが全て終了していても、保険証確認がお済みでないと、お会計のご準備ができません。会計窓口でお済みでない方を確認しお呼び出ししておりますが、毎日20～30件ほどお待たせしてしまうことが発生しております。スムーズな保険証確認にご協力をお願いします。

マイナ保険証をご利用ください

12月1日をもって、現行保険証（紙保険証）交付は終了となりました。有効期間内であれば、現行保険証を使用できますが、期間終了後は使用できなくなりますので、どうぞご注意ください。

なお、マイナンバーカードを保険証利用するお申し込みがまだお済みでない場合は、当院窓口でも利用登録ができますので、お気軽にお声掛けください。

外来満足度調査委員会より接遇向上への取り組み ～医事室編～

伊藤病院 医事室 七尾、時田

医事室では、部署内独自の委員会活動として「接遇マナー委員会」を設置して、委員を中心に接遇に関する知識を深め、医事室全体の接遇向上に努めています。

外来業務においては、新患受付・総合受付・保険証確認窓口・会計窓口・フロア案内など、患者様と接する場面が多くあり、2023年に実施した外来満足度調査では、スムーズな対応に高評価をいただいたものの、事務的に感じるというご指摘もありました。

そのため、以前から委員会が発信している「接遇マナーだより」の強化と、医事室ミーティングでの意見交換を行いました。「接遇マナーだより」は、接遇面における患者様の満足度向上の取り組みとして、参考となる情報をまとめ、医事室内で年3回発行しています。昨年度の外来満足度調査のご意見を踏まえて、「敬語の使い方」「ありがちな敬語の間違い」「印象を下げてしまう話し方」などのテーマを設定し、一人ひとりの意識や行動を改める教材としました。

また、定期的に行う医事室ミーティングでは、接遇マナー委員が中心となり、患者ご意見箱にいただいたご意見の共有や、他部署からの報告も併せて発表し、ご意見・ご指摘に対してどのように改善すべきか意見交換しています。

今後もスムーズかつ丁寧な対応を目指し、いただいた意見を日々の接遇に活かしてまいります。



表参道寄り道スポット

※価格はすべて税込表示です

SKINCARE LOUNGE BY ORBIS (スキンケアラウンジ バイ オルビス)

伊 藤病院から徒歩8分。今回で紹介するのは、「SKINCARE LOUNGE BY ORBIS」です。こちらは「ここちを美しく。」をブランドメッセージに掲げるオルビスの体験型の美容施設。1階では、洗顔料などの泡立て体験やパーソナルスキンチェックを手軽に受けることができ、診察や検査の合間におすすめです！2階ではメイクレッスンなどのワークショップや、オルビスのアイテムを使った施術を受けられるスキンケアサロン(ともに事前予約制)など、五感を満たしながら自分自身の「ここちよさ」「美しさ」を見つけることができるさまざまなコンテンツがあります。体験がメインですが、お試して気に入ったオルビスのスキンケアやインナーケア商品を購入することもできます。ぜひご自分の肌の状態をチェックし、スキンケア体験を楽しんでみてはいかがでしょうか。



JUICE BAR

入口横のジュースバーでは、野菜やフルーツをたっぷり使用した「inner color juice」を販売。ホットとアイスそれぞれ5種類の定番ドリンクのほか、季節限定メニューも。その日の状態に合ったインナーケアを選べます。



■アイス

Sサイズ(カップ)ティクアウト 702円/
イートイン 715円
Lサイズ(ボトル)ティクアウト 1,296円/
イートイン 1,320円

■ホット

ティクアウト 540円/イートイン 550円

スキンケアが楽しくなるオリジナルボトル



オルビスユウの化粧水ボトルに好きなデザインを選んで名前を印字できます。所要時間は約15分ですが、混雑状況によっては当日のお渡しができない場合もあります。

オリジナルつめかえ用ボトル+
オルビスユウ エッセンスローション
つめかえ(180ml)
2,750円

パウダールームでゆったりとお直し



オルビスアプリをダウンロードすると利用できるパウダールームは、セミプライベートで落ち着く空間。オルビスのスキンケア・メイクアイテムを自由に試せて、お出かけ前にも便利です。

無料/ひとり1時間まで
※プレミアムプラン(500円)でカールアイロン・ストレートアイロン貸出



基本
DATA

店名 SKINCARE LOUNGE BY ORBIS(スキンケアラウンジ バイ オルビス)
住所 港区南青山5-7-1
営業時間 LOUNGE 10:00 ~ 20:00 / JUICE BAR 8:00 ~ 20:00
定休日 なし(都合により臨時休館になる場合があります。くわしくはホームページをご覧ください。)
アクセス 東京メトロ「表参道」駅B3出口より徒歩3分
伊藤病院より徒歩8分
Wi-Fi あり
HP <https://www.orbis.co.jp/skincarelounge/>



表参道ランチ&グルメ情報

shiari samgyetang (シアリ サムゲタン)

 今回紹介するお店は、伊藤病院から徒歩4分、薬膳×アートが楽しめるサムゲタン(参鶏湯)専門店「shiari samgyetang」です。「あなたの明日が、今日より美しくなりますように…」という、とても素敵なコンセプトのお店。薬膳調理師が丹精込めて仕上げる、こだわりの詰まったサムゲタンを食べることができます。高い天井で解放感ある店内には、写真家・植村マサ氏の作品が展示されており、アートな空間でお食事が楽しめます。



メニューは6種のおかずが付いた「リッチサムゲタン」のみという潔さ。ぐつぐつ煮込まれたサムゲタンが運ばれてくると、まず席に用意されているコンロの上に。そこで再度熱々に温められながらお店の方が目の前で胡桃やクコの実、ネギといったトッピングをし、出来立てを提供してくれます。こういったひとつひとつの演出が食べる前からわくわくさせてくれます。スープは丸鶏と高麗人参をはじめとする複数の薬膳を掛け合わせ、お肉がホロホロになるまで煮込んだ旨みたっぷりの出汁と、8時間じっくりと煮込んだ濃厚な鶏白湯がブレンドされています。また干し椎茸や昆布などの出汁で日本風にアレンジされており、コクと旨みが凝縮されたところろろスープは絶品です。鶏肉はスプーンで崩れるくらい柔らかく骨まで食べられるほどで、中にはもち米が入っていてボリューム満点です。そのままでももちろん美味し

いですが、卓上にはレモン胡椒、コチュジャン、ハリッサの3種類の味変アイテムが。レモン胡椒でピリッと爽やかに、コチュジャンで韓国風に、ハリッサでエスニック風にと、色々な味が楽しむことができ、最後まで大満足です！

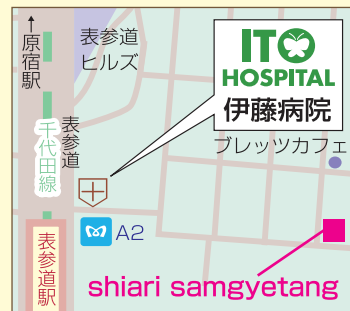
寒い寒い冬の時期、冷え切った身体を温めにぜひサムゲタンを食べに行ってみてはいかがでしょうか。心も身体もぽかぽかに温まりますよ！



リッチサムゲタン
(6種類のおかず付き)
2,400円(税込)

お店の方から一言

当店は、日本人の味覚に合わせたサムゲタンをご提供しております。高麗人参等の薬膳食材に、昆布や干しいたけを加えたスープと、濃厚な白湯スープを掛け合わせた当店オリジナルのサムゲタンです。おひとり様でも入りやすい雰囲気ですので、ぜひご来店お待ちしております。



店名 shiari samgyetang(シアリ サムゲタン)
住所 渋谷区神宮前3-4-3 パークサイド表参道1F
電話番号 03-6826-9498
営業時間 11:00 ~ 22:00 (L.O. 21:30)
定休日 火曜日
アクセス 東京メトロ「表参道」駅A2出口より徒歩5分
伊藤病院より徒歩4分

Wi-Fi なし
携帯充電 不可
Instagram @shiarisamgyetang
平均予算 昼・夜ともに3,000円前後
喫煙 全席禁煙
席数 13席

基本
DATA



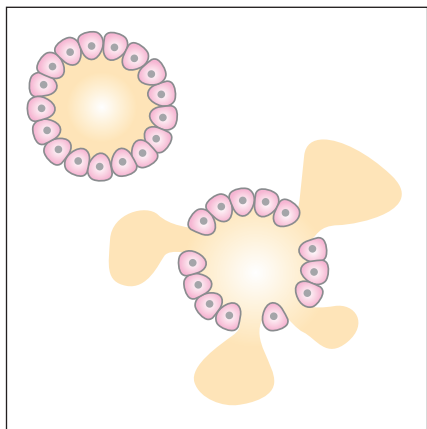
破壊性甲状腺炎

伊藤病院 内科 市川雅大



【破壊性甲状腺炎とは】

破壊性甲状腺炎は、炎症などによって甲状腺細胞が破壊され、細胞内に蓄えられていた甲状腺ホルモンが漏出することで甲状腺ホルモンが高くなる病気です。バセドウ病も同様に甲状腺ホルモンが高くなる病気ですが、バセドウ病では甲状腺に結合する抗体が持続的に甲状腺を刺激する結果、甲状腺ホルモンが過剰となります。



【原因】

破壊性甲状腺炎を起こすものとして代表的なものには、無痛性甲状腺炎と亜急性甲状腺炎があります。無痛性甲状腺炎は慢性甲状腺炎(橋本病)の経過中にみられることが多いですが、それ以外にも出産後や、薬によるもの(アミオダロン、インターフェロンなど)もあります。亜急性甲状腺炎はウイルス感染の関与が疑われていますが、いまだに真の原因は不明です。

【症状】

甲状腺ホルモンが高くなるため、動悸、手の震え、体重減少、発汗過多などの症状がでます。無痛性甲状腺炎ではその名の

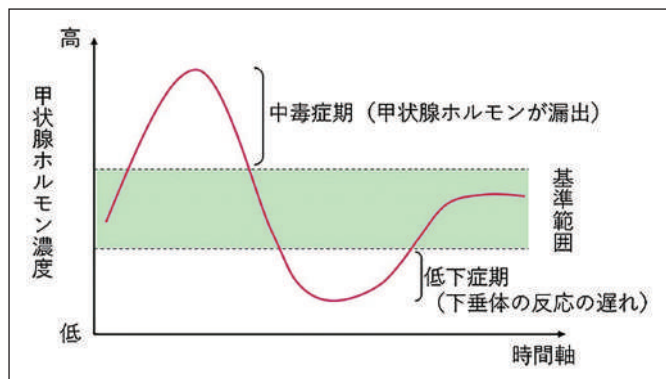
ごとく、くびの痛みは起こりませんが、亜急性甲状腺炎ではくびの痛み、発熱などもあります。

【検査】

症状や身体所見に加えて血液検査と甲状腺超音波検査(エコー)を行います。血液検査では甲状腺ホルモン(FT3、FT4)の上昇、甲状腺刺激ホルモン(TSH)の低下がみられます。亜急性甲状腺炎では甲状腺に炎症が起きているため、CRPが高値となります。抗TSHレセプター抗体(TRAAb)はバセドウ病と異なり、通常陰性です。鑑別が難しい際にはアイソトープ検査も実施します。甲状腺超音波検査では、バセドウ病は甲状腺内の血流が増加しますが、無痛性甲状腺炎では血流は乏しく、エコーの画像からも炎症が起きていることが確認できます。

【治療】

無痛性甲状腺炎は通常1~4ヶ月以内に自然に改善しますが、動悸などの症状が強い際は β 遮断薬を内服していただくこともあります。亜急性甲状腺炎では、軽症の場合は鎮痛薬のみで軽快することもあります。発熱や疼痛などの程度によってステロイド内服加療が必要となります。





日本では、インフルエンザが12月から3月にかけて流行しますが、「インフルエンザ」という言葉は16～17世紀のイタリアで生まれたと言われています。当時の人々は、病気がウイルスによって起こることを知らず、占星術師たちは、寒さや星の動きが関係していると考えました。そのため、イタリア語で「影響」を意味する「influenza(インフルエンツァ)」という言葉が使われるようになりました。この名称は病気の広がりとともに世界中に広まり、現在も使われています。

インフルエンザと風邪の違いは？

風邪は、さまざまなウイルスによって引き起こされ、主にはのどの痛み、鼻水、咳などが症状です。熱はそれほど高くならず、全身症状はあまり見られません。一方、インフルエンザはインフルエンザウイルスが原因で、38℃以上の高熱や頭痛、関節痛、筋肉痛、全身のだるさなどが特徴です。また、風邪と同じように、のどの痛みや鼻水、咳などの症状もあります。特に子どもではまれに急性脳症が、高齢者や免疫力が低下している方では肺炎など重症化することがあり、注意が必要です。

なぜ毎年インフルエンザが流行するの？

インフルエンザウイルスは、生きた細胞に寄生して増殖します(たとえば、人の細胞に入り込みます)。しかし、増殖の過程でウイルスが持つ遺伝子に複製エラーが生じることがあり、その結果、元のウイルスとは異なる新しいウイルスが生まれるため、毎年少しずつ異なる形のウイルスが出現します。インフルエンザにかかったりワクチンを接種したりして抗体ができて、ウイルスが変異している場合、その抗体が十分に効果を発揮しないため、再び感染するリスクがあります。

インフルエンザを予防するためにできることは？

まずワクチン接種が挙げられます。インフルエンザワクチンは、感染後の発症リスクを軽減し、発症しても重症化を防ぐ効果があるとされています。当院通院中の患者様は、基本的には接種に問題ありませんが、甲状腺機能に異常がある方やがんに対する薬物治療を受けている方などは、接種のタイミング

グに注意が必要な場合がありますので、診察時にご相談ください。

アイソトープ治療や外科手術を予定されている方は、原則、以下の時期までに接種をお願いします。

バセドウ病・機能性結節でアイソトープ治療予定の方	治療の1週間前まで
アイソトープ大量治療・アブレーション・アジュバント予定の方	治療の1ヶ月前まで
手術予定の方	入院の2週間前まで

治療後の接種時期については、治療時に医師とご相談ください。

また、外出後の手洗いやアルコールでの手指消毒、部屋の適度な加湿(湿度50～60%)、十分な休養とバランスの良い食事、人混みや繁華街への外出を控えること、こまめな換気など、これらは季節に関係なく、新型コロナウイルス対策にも役立ちます。

感染予防を心がけ、元気で楽しい冬を過ごしましょう！

ホームページ「よくあるご質問」ページのご紹介

当院ホームページに、患者様からお問い合わせいただくことをQ&A形式でご紹介しています。医師のご希望に関することや、服薬時の疑問、ヨウ素の制限など幅広く掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



名古屋甲状腺診療所20周年を振り返って

名古屋甲状腺診療所 事務長 高田博史

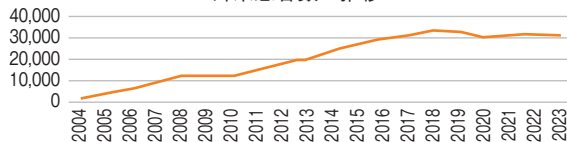
前号の大江院長のご挨拶のとおり、おかげさまで当診療所は今年開設20周年を迎えました。今回、外来数の推移とともに診療所の変化を振り返ってみたいと思います。

現在、当診療所は職員24名と14名の非常勤の先生方のご協力を得て診療しています。2004年開院当初は、ビルのクリニックモールで長濱院長他4名の職員でスタートしました。当時は外来数も1日10人程度でしたが、現在ではほぼ3診体制で1日平均120人近くの患者様に来院いただいております。この間、中日健康フェアなど甲状腺疾患についての情報発信、職員増員にともなう情報共有の仕組み作りや各種委員会による改善活動、そして他施設との連携強化など、さまざまな取り組みをしてまいりました。

これからも、安全・安心な医療をよりスムーズにご提供できるように、また地域の先生方との信頼関係強化にむけて、職員一同「甲状腺を病む方々のために」日々精進してまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

年	診療所年表
2004	6月に大須診療所として開院。丸茂病院での手術開始
2008	院長交代：長濱院長から椿院長へ
2011	新築移転（放射線設備導入、2診体制）
2012	総合上飯田第一病院での手術開始
2015	藤田医科大学と連携開始
2017	名古屋セントラル病院での手術開始
2018	大須診療所から名古屋甲状腺診療所へ名称変更
2021	院長交代：椿院長から大江院長へ
2024	開院20周年

外来患者数の推移



名古屋甲状腺診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59
電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308
HP：https://www.kojin-kai.jp/nagoya/



第24回日本内分泌学会北海道学術集会に参加いたしました

さっぽろ甲状腺診療所 院長 岩久建志

北海道はほぼ関東地方と中部地方をあわせたほどの広大な土地におよそ500万人が点在しており、札幌圏を中心とした都市部とその他の地域の医療事情が大きく異なります。特に我々が専門としている甲状腺疾患は内分泌領域に属していますが、道内には内分泌領域を専門にしている医師自体が少なく、多くの地域で専門医がいないため、他の領域と比較するとその傾向がより顕著です。

当地では毎年北海道医学大会という学術集会があり、広い道内でも質の高い均質な医療の提供が可能になるように、希少疾患についての知見の共有等を目的としてすべての領域の医師が何らかの形で参加いたします。本年の北海道医学大会は第104回を数え、内分泌領域は第24回日本内分泌学会北海道支部学術集会として、2024年10月6日旭川市のOMO7旭川by星野リゾートにて開催され、少ない内分泌専門医でも周囲への発信・啓蒙により多くの地域での医療の質を維持すべく発表や活発な討議が行われました。私も「亜急性甲状腺炎後の甲状腺機能低下症について」の題で発表いたしました。亜急性甲状腺炎は希少疾患ではないものの、知らないと診断に至ることすらできず、いたずらに患者様を苦しめることとなる疾患ゆえ積極的に発信することの重要性を感じております。

今後も引き続き「甲状腺を病む方々のために」を旨として、道内の甲状腺疾患にお困りの患者様方の一助となれるよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



さっぽろ甲状腺診療所

住所：北海道札幌市中央区大通西15丁目1-10
ITOメディカルビル札幌5F
電話：011-688-6440 FAX：011-688-6439
HP：https://www.kojin-kai.jp/sapporo/



このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやました甲状腺病院の情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました甲状腺病院 院長 佐藤伸也

「お前のものは俺のもの、俺のもの俺のもの」

やました甲状腺病院の佐藤伸也です。

当院では手術の説明を外来診療時に行っています。患者さんに手術内容、起こりうる合併症などを説明し、手術同意書にサインをしてもらっています。その前後で患者さんに以下のように聞かれることが多くなりました。「手術は先生がしてくださるんですよね」と。若い頃は言われたことはありませんでしたが…。患者なら誰でも経験豊富な外科医に執刀してもらいたいですよね、その気持ちよくわかります。でも、色々そこちかも事情がありまして、現在は「私ともう1人の外科医、2人の看護師で手術を行います。私が手術の最終責任者ということになります」と言っています。

私は耳鼻科医から外科医に転科しましたが、外科の修練は北海道大学第一外科の関連病院で行いました。その時の主任教授は藤堂省先生で、私が現任地に勤務するきっかけを作ってくださった方でもあるのですが、その先生が編集された著書【EBM外科標準診療】の前文に印象的な一文があります。36歳の藤堂先生が肝臓移植のメッカ、ピッツバーグ大学に留学した当初のことを述べたところですが、「Starzlや岩月、Bud Shawたちがまるで神業のように肝移植を行うことに驚嘆しました。しかし、それより驚いたことは、スタッフを前立ちにした卒後5,6年目のチーフレジデントの脾頭十二指腸切除(注：消化器外科の最難関手術の1つ)でした。というのは当時日本ではこの手術は教授か助教授しか許されず、私自身一生手掛けることもないだろうと思っていたからです」と記載されており、1980年代までは偉いさんばかり手術の術者をして、若い医師は助手ばかりで、上級医が引退した後にやっと術者になれるという時代でした。そのような形だと技術的な不連続が生じるリスクがありますので、藤堂先生が教授着任後は北大の関連病院では可能な限り若手外科医に術者の経験を積ませるようにとお達しが出ていたようです。その甲斐もあって私も外科医転向6年目の36歳までに脾頭十二指腸切除を3例ほどですが術者として経験することができました。昨今では外科医不足、働き方改革ということもあり、若手外科医のモチベーションを維持すべく、可能な範囲で若手外科医に術者を多く経験させる施設が増え

ています。当院でも今年、2名の若手外科医が入職しましたが、そのような配慮をしつつ診療を行っています。

戦時中の日本海軍連合艦隊司令長官の山本五十六の「やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ」という格言は、指導者の心得として有名です。人は敢えて当たり前のことは言いませんので、戦時中はこれが当たり前ではなかったこと、いわゆる見て覚えろという旧態の体質であったことが分かりますし、それが医学の世界では1980年代まで連続と続いていたということになります。今、山本五十六の格言を思いつつ若手外科医と手術を行っています。もう1つ手術中に思う言葉が表題の「お前のものは俺のもの、俺のもの俺のもの」という言葉です。この言葉は漫画「ドラえもん」の中でジャイアンがスネ夫やのび太から物を取り上げる時に使用する非常に理不尽な言葉として世間一般に認識されています。「ドラえもん」の作者、故 藤子・F・不二雄(藤本弘)先生がどのように考えられてこの言葉を載せられたか、今となっては知る由もありませんが、若いアシスタントを指導して1つの作品を作り上げつつ、アシスタントを1人前の漫画家に育て上げることも求められる立場から出た言葉であるなら、前述の言葉も以下のように読み取れるのではないのでしょうか。「お前(アシスタント)の仕事(背景などの作画の仕事)は俺(藤本)の責任、俺の仕事(ストーリーやキャラのペン入れなどの仕事)も俺の責任」と。

TVドラマのドクターXの大門未知子の決めゼリフは「私、失敗しないので」ですが、「私、失敗させないの」が外科医としてはより高みのある言葉ですかね。



医療法人福甲会
やました甲状腺病院

〒812-0034

福岡県福岡市博多区下呉服町1-8

<https://www.kojosen.com/>

TEL : 092-281-1300 FAX : 092-281-1301

大陸(朝鮮半島)と日本を結ぶチョウセンアカシジミ

甲状腺のシンボルマークにはしばしばチョウ(蝶)が用いられます。このコラムは、病理医(病理学者)で、アマチュア昆虫写真家の虫林花山先生が、国内外で撮影した様々な蝶たちを紹介しています。今回はチョウセンアカシジミという橙色の翅を持つ可憐で美しいシジミチョウを紹介します。もともと本種は朝鮮半島のチョウとして知られていたのですが、あろうことか昭和28年に岩手県の田野畑村で発見され、その後、山形県や新潟県の一部でも見出されました。今から約60万年前(氷期)には現在の日本海が大きな湖の形で、北は北海道と樺太(カラフト)、南は九州・中国地方と中国・朝鮮半島の東シナ海の北部が陸続きだったようです。その後、約1万年前に大陸から離れて「日本列島」が形成されましたが、その頃から気温が上昇し、やや涼しい気候を好むチョウセンアカシジミは北日本の一部だけで生き残ったといわれています。つまり、このチョウは、日本と大陸(朝鮮半島)が陸続きだったという説を裏付ける生き証人といえるでしょう。

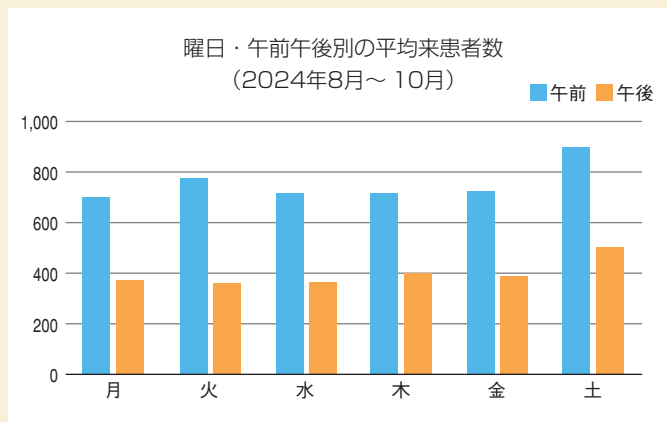
ご存知のように2011年3月11日に東北地方太平洋沖で大きな地震(東日本大震災)が起き、その後の津波が岩手県の三陸地方に大きな被害をもたらしました。この被災地域は、期せずしてこのチョウセンアカシジミが分布する地域とオーバーラップしています。震災後、すでに10年以上の月日が流れ、今ではのどかさを取り戻した村落の田畑周囲や河川敷にオレンジ色の翅をひるがえして飛ぶ本種の姿を見るとホッとします。



統計情報

曜日・午前午後別の外来受診者数について

当院は予約制をとっておりませんので、患者様のご都合のよい日時、また体調に異常を感じられた際にご来院いただける一方で、混雑時と重なってしまうと待ち時間がさらに増えてしまう状況にもあります。ソフト・ハード両面で改善と対策を進めておりますが、十分とは言えない状況です。そのため、患者様より空いている曜日や時間帯についてご質問をいただくこともございますので、直近3ヶ月間の曜日別および午前・午後別の外来受診者数をご紹介します。患者様のご都合や医師の外来担当日などの兼ね合いもございますが、ご来院の日時を決める参考になりましたら幸いです。



どの曜日でも午後よりも午前の方が混み合っている状況で、祝日の前後、また前後の週の同じ曜日にも混み合うことが多く見られます。

外来では、特に医師の指定がない方は、待ち時間が長くないよう、各診察室の待ち人数を考慮して診察室を決定しております。また、決まった医師の診察を継続されている方や、医師のご希望のある方はそちらを優先して診察室を決定しております。女性・男性医師や個別の医師など、指定、変更のご希望がございましたら、2F外来中央にお知らせください。(病気の性質や治療内容によりご希望に添えない場合もございます。)

今後も待ち時間軽減への取り組みを継続してまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

学会活動

第28回 茨城県地域医療学会(茨城・8/25)

鈴木章史 「きっと役立つ!? 甲状腺診療あれこれ 2024夏」

第65回 日本人間ドック・予防医療学会学術大会(神奈川・9/6～7)

松津賢一 ランチョンセミナー 4「甲状腺疾患を見落とさないために」

第83回 日本癌学会学術総会(福岡・9/19～21)

正木千恵 「STAT3 is associated with recurrence-free survival in papillary thyroid carcinoma」

第25回 日本内分泌学会 関東甲信越支部学術集会(埼玉・9/27～28)

吉原 愛 座長「一般演題5 甲状腺①」
座長「一般演題14 甲状腺③」

第55回 日本看護学会学術集会(熊本・9/27～29)

石澤 緑 「A病院クリニカルラダーにおけるキャリア形成支援-目標設定を用いた研修の取り組み」

第65回 全日本病院学会in京都(京都・9/28～29)

二階堂名奈 「看護師によるパセドウ病治療イメージングの実際と患者の治療選択」

高橋優香 「甲状腺疾患に対するI-131内用療法施行前の当院のヨウ素制限食の有効性～尿中ヨウ素量を用いた研究～」

日本超音波医学会 第36回関東甲信越地方会学術集会(東京・10/5～6)

北川 亘 座長[講習会]甲状腺頭頸部[甲状腺・頭頸部超音波検査におけるビットフォール]

骨密度検査動画のご案内

骨も髪や皮膚と同じように、古い骨の一部を吸収し新しい骨を作る新陳代謝を繰り返しています。甲状腺ホルモンは骨吸収・形成に関係しており、甲状腺ホルモンの高い状態が続くと骨粗しょう症になりやすいといわれています。

骨密度検査は骨がもろくなっていないか調べる検査です。動画で検査の目的から結果用紙の見方まで紹介していますので、ぜひご覧ください。また動画の内容についてのアンケートへのご協力もお願いいたします。



【YouTube】
骨密度検査について



【Google Forms】
アンケート

講演活動

Thyroid Cancer Expert Network Conference(WEB・8/9)

正木千恵 [症例ディスカッション「BRAF遺伝子変異陽性甲状腺がんの治療選択とマネジメント」]症例1 薬物療法の恩恵をどのように得るか

イーザイ株式会社「MR研修会」(東京・8/21)

正木千恵 「甲状腺癌で行われているがん遺伝子検査」

ファーマシー WEBセミナー (WEB・8/27)

渡邊奈津子 「甲状腺機能異常への薬物療法～これだけは知っておきたい基本と注意点～」

甲状腺癌WEBセミナー (WEB・9/11)

正木千恵 「甲状腺癌における薬物療法の最近の話題 ～レンビマの長期継続とがん遺伝子検査の実際」

TC甲府講演会(WEB・9/12)

正木千恵 「これからの甲状腺癌の薬物療法 ～がん遺伝子検査とレンビマを使いこなすために」

メドトロニック WEBセミナー (WEB・9/12)

友田智哲 「反回神経に対する術中神経モニタリング施行時の注意点 反回神経健全性の評価のポイントとは?」

健康経営2024 健康づくり講演会(東京・9/20)

吉原 愛 「甲状腺機能と疾患の理解・知っておくべきポイント」

イーザイ株式会社「MR研修会」(東京・9/25)

鈴木章史 「伊藤病院での Dabrafenib / Trametinib治療」

Novartis TC web seminar(東京・10/11)

正木千恵 「BRAF陽性甲状腺がんの薬物療法の実際」

DiaMond Seminar in おきなわ ～甲状腺と糖尿病～(沖縄・10/18)

吉村 弘 「甲状腺臨床の海外からの新しい波」

Thyroid Cancer Clinico-Pathological Conference(宮城・10/18)

正木千恵 「甲状腺癌における最新情報と遺伝子検査の重要性」

天野高志 「甲状腺癌の病理・細胞診検査における最新のトピックス」

中四国版 甲状腺癌分子標的治療を考える会(東京・10/21)

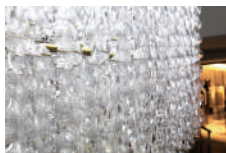
正木千恵 「どう使う? マルチプレックス検査と標的治療薬」

表紙no写真

表参道ヒルズのクリスマスツリー

当院のある表参道はイルミネーションがはじまり、すっかりクリスマスモード。表参道ヒルズでも、12月25日(水)まで建築家の沖津雄司氏がデザインしたクリスマスツリーが飾られています。4万枚ものレンズを組み合わせてつくられていて、万華鏡のような輝きに目を奪われます。

(白田)



Instagramはじめました！

伊藤病院公式Instagramを開設しました。病院の活動や患者様へのお知らせなどを発信してまいります！



編集後記

Voice冬号を手にとってくださってありがとうございます。お楽しみいただけましたでしょうか？今年は季節外れの暖かい日々が続き、半袖で過ごすことが多い1年でしたが、今ではすっかり冷え込み、コートが手放せなくなっていました。寒暖差で体調を崩さないよう、どうかご自愛ください。Voiceでは、甲状腺の病気に関する記事はもちろんのこと、その他の病気についても「健康に関する記事」にて掲載しております。皆様の健康に少しでも貢献することができれば幸いです。2025年も伊藤病院、Voiceをよろしくお願いいたします。

(市川)

甲状腺疾患書籍のご案内

当院近くの「山陽堂書店」でも販売しております。ぜひご活用ください。



「患者のための最新医学シリーズ バセドウ病・橋本病 その他の 甲状腺の病気 改訂版」

監修：伊藤公一
定価：1,430円(税込)
発行：高橋書店



新版「甲状腺の 病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,430円(税込)
発行：講談社



新刊

「やさしいカラー図解 甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,870円(税込)
発行：法研



「図解 甲状腺の病気が よくわかる 最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,540円(税込)
発行：日東書院



安全！便利！おいしい！ 甲状腺専門・伊藤病院がわかる ヨウ素制限食レシピ

監修：伊藤公一
編集：北川亘
定価：1,760円(税込)
発行：全日本病院出版会



「よくわかる最新医学 甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,540円(税込)
発行：主婦の友社

発行 2024年12月1日発行 第88号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6
TEL : 03-3402-7411
FAX : 03-3402-7415
URL : <https://www.ito-hospital.jp>

